



校訓

考える人 心豊かな人 たくましい人

霧島市立国分南中学校

学校便り 11月1号

令和7年11月5日発行

南中文化の継承、過去から現在、未来へ ~文化の香り高き学習文化発表会・合唱コンクール~

校長 平國弘明(ひらくに こうめい)

10月31日(金)。令和7年度学習文化発表会・校内合唱コンクールを開催した。「端的に感想を」と問われれば、「素晴らしい」と答えるであろう。それほど質も高いものであった。

前半の学習文化発表会のプログラム1番は、吹奏楽部演奏。3年生が既に引退し、1、2年生主体となっておそらく初めて演奏を披露する場であったのではないだろうか。これまでにない緊張の中、演奏が始まる。「頑張れ」っと思わず祈りたくなる心境だった。すぐに演奏は落ち着きを取り戻す。部員の呼びかけに大声で応える3年生の返し。会場が一体になったことを感じた。のっけから体育館は盛り上



がった。続くダンス部の発表、縄文の森秋祭りのときよりさらにキレイと完成度が増していた。会場がやや狭く観客に近いために、発表する側はプレッシャーを強く感じるのではないかと思ったが、元気よく笑顔で踊りきった。地区大会、県大会でも明るく元気な笑顔とダンスを期待したい。3番目は、上野原縄文の森ボランティアガイドの体験発表。このボランティアガイドは今年で27年。私自身も夏休みにそのガイドの様子も見、体験している。舞台でのガイドの再現がすばらしかった。クイズも交え、上野原縄文の森の説明も非常にわかりやすく、ガイド経験の貴重さや意義の深さの話が十分に伝わってくる発表だった。加えて、この体験を自分たちだけでなく、南中生の多くの人に経験して欲しいとのメッセージで締めくくられた。続いて、「霧島しごと維新」の体験発表。高校フ

ェアや企業見学等参加の感想を交えながら、ネットなどでは味わえない、実際に見てみることの大切さを伝えた。整理され、かつ落ち着いた発表だった。来年度以降も参加したいとの思いも添えた。5番目の発表は、総合的な学習における学びを今年度は2年生と3年生がそれぞれの学年テーマである「平和」と「キャリア・進路」を中心に発表した。ここでも実



際に見てみることや体験することの大切さが語られた。前半の最後は、英語暗唱、英語弁論、トピックトーク。それぞれ、地区や県の大会の代表でもある4人が発表。特に下級生から、驚きと賞賛の混じった声があちらこちらから聞こえたとのことだった(この時間帯は鑑賞することが

できなかったため)。

後半は、合唱コンクール(通称Mコン)。1年生から学級毎の発表。トップバッターは3組、緊張もあったとは思いますが、メリハリのある歌声だった。特に男子の声がよく出ていた。4組は元気はもちろんうまさもあり、特に伸ばす音がきれいだった。1組は入りからきれいな歌声で、歌詞を大切にしていると感じた。2組は、さびの部分をととても上手に歌っていた。2年生の部に入る。コーラスの質が一段上がった。1年生もおそらくそのことを感じたことだろ

う。伴奏、指揮もレベルが高い。2組から始まる。声が伸びやかできれい。一方で歌詞をしっかりと歌っていて、曲調をうまく掴んでいると感じた。3組、男女の声のバランスがよかった。自分たちの声をよく理解し、選曲していると思った。1組は丁寧で一音一音大切に歌っていると感じた。男子の声がよく響き、女子の声がきれいだった。4組は、特に女子の声がきれいだった。曲にあっていると感じた。丁寧な演奏が印象に残った。給食と昼休みを挟み、午後の部、いよいよ3年生。1組が先陣を



切る。「すごい」と思わず声が出る。下級生には申し訳ないが、1ランクいや2ランク以上、コーラス、伴奏、指揮のレベルが上がった。おそらく見に来ていただいた方々もそのことに異論はなかろう。伸びやかな歌声、男女のハーモニーが素晴らしかった。2組、まず所作が美しかった。曲をよく理解し、歌い込まれていると感じた。4組は、男子の声がよく響いていた。女子の声が実にきれいだった。練習を重ねてきたことを感じるものだった。3組、出だしがしっかりしている。小さな音もしっかり出ていた。大切に歌っていることが伝わってきた。5組、歌への思いを感じた。歌の特徴を生かそう、理解しようという気持ちが溢れていた。言葉足らずで申し訳ないが、3年生の合唱に“じん”ときた。



コンクール後、南中コーラスが発表。例年以上に練習時間が取れない中で、歌うこと好きの65名が実に楽し気に美しく3曲を歌い上げ、コンクールはフィナーレを迎えた。お招きした審査委員長の吾平中学校長上村勉先生に講評をいただいた。歌、伴奏、指揮それぞれに対して、バランス、調和、指揮による歌の体現などの重要さを話された。なるほどと感じた。長年、このような審査に携わってこれているので、実に的確な助言をいただくことができた。ありがたいことだと感じた。その後、審査結果が発表された。私も審査に参加させていただいたが、実に難しい作業だと改めて感じた。どの学級も甲乙つけがたい内容であった。全員に拍手を送りたい。バックアップしてくださった先生方への感謝も込めてである。

最後に、各学級のテーマソングともいうべき発表曲。今の学級が続く限り、時々でいいので歌って欲しい。普段から歌声が響き、文化の香る学校にしたい。

加えて、舞台発表はもちろん、展示発表も過去からこの日まで引き継がれた南中文化の伝統を感じた。これを目にした1, 2年生が次の世代に引き継いでくれるであろう。さらに素晴らしい発表を期待したい。

校内合唱コンクール結果

1年の部 最優秀賞：1組 2年の部 最優秀賞：2組 3年の部 最優秀賞：1組

※ なお、2年最優秀賞の2組は、令和8年1月に宝山ホールにて開催される鹿児島県音楽コンクール「春の祭典」に南中代表として出場することが決まっています。

受賞・表彰

地区総体10/2駅伝競技 区間賞男子4区3位

※ 上記地区総体駅伝競技について、学校便り10/23号の「受賞・表彰」欄の掲載に漏れがありました。お詫びしますとともに新たに掲載いたします。誠に申し訳ありませんでした。